

本館の正面玄関を
こわし、そのあとに
本館東棟が新たに建
築されることになり
ました。去る七月十
八日に地鎮祭が行わ
れ、目下来年三月の
完成めざして工事が
進められています。

旧正面玄関は、昭和
四十五年に本館が
建築された時以來、
本校の顔として親し
まれ利用されてきま
した。

こんどの新しい本館東棟
は、鉄筋コンクリート造
りの四階建てです。外装
は記念講堂や総合体育館
と同じ茶色のタイル張り
で統一されています。一
階は玄関と応接ロビーお
よび事務室。二階は理事
長応接室と会議室。三階
と四階が普通教室（六室）
となります。延べ面積千
三百七十一平方メートル
です。



▲昼食のひととき

大運動会 みんなが主役



▲あいさつする校長先生

ことしの大運動会は十月二十六日に県総合グラウンドで行われました。二千七百人の生徒が整列したのち、校長先生のあいさつ写真、生徒宣誓があり、ただちに競技に入りましたが、生徒や先生たちのほか保護者や卒業生も加わり、三千人が秋の一日を楽しみました。
(撮影・写真部)



▲校旗入場（生徒会役員）



▲安全運転（2年男子）



▲騎馬戦（1年男子）



▲生徒入場



▲集団演技「虹」（2年女子全員）



▲エッサッサ（1年男子全員）



▲入場行進



▲大会を盛り上げたバンド部



▲応援旗も出現（生活教養科）



▲全員整列

レポート

ソフトテニス団体で優勝

中部新人大会で

今年度前半の各運動部の活躍をお知らせいたします。ソフトテニス部はインターハイというレベルの高い目標をもち、日々勝利を信じて練習に励んでいます。また、そこから養われる強い精神力と人間形成を得るため、部員一人一人が自己の限界にチャレンジしています。

◇ジャパンカップ県予選会（4月15日、県総合運動公園テニスコート）
第3位 石黒晴香（3の17）、漆原早苗（3の17）
◇県高校総体兼関東県予選会（4月29日、県総合運動公園テニスコート）
女子団体3位 金子安美（3の8）、平山裕子（2の11）、漆原早苗（3の17）、増淵佳代子（3の12）、竹内麻美（3の11）
女子個人関東大会出場 小沼美映（2の5）、飯塚美江（2の18）
◇関東大会（5月31日、6月2日、東京都有明テニスの森テニスコート）
女子団体1回戦、宇短大附（2・1上尾（埼玉）2回戦、宇短大附0・2高津（神奈川）
◇全日本高校県予選（6月13日、県総合運動公園テニスコート）
女子団体3位 金子安美、平山裕子、石黒晴香、漆原早苗、増淵佳代子、竹内麻美
◇第51回国体少年県予選会（7月6日、県総合運動公園テニスコート）
女子個人ベスト8 石黒、漆原組
◇中部新人大会（8月26日、県総合運動公園テニスコート）
女子団体優勝 小沼美映、飯塚美江、大塚博美

新体操選手権

◇関東高校新体操選手権大会（5月8日、9日栃木県体育館）
個人競技総合（クラブ、リボン）の部 第4位 伊藤啓子（3の10）
◇関東高校新体操選手権大会（6月7日、8日埼玉）
県浦和市サンアリーナ
個人競技総合（クラブ、リボン）の部 出場 伊藤啓子（3の10）
◇全国高校総体新体操選手権大会（6月18日、19日栃木県体育館）
個人競技総合（クラブ、リボン）の部 第3位 伊藤啓子（3の10）
今年度初めて関東大会に個人競技で出場することができました。「関東を制する者は日本を制する」といわれる大きな大会に出場できたことを自信に、関東大会連続出場、さらにインターハイを目指していきます。

学年対抗で球技大会

今年の校内球技・水泳大会の方針が変わりました。昨年はAグループ・Bグループに分かれて試合を行いましたが今年度から学年別対抗という形をとりました。優勝チームのクラスは次の通りです。

【バレーボール】
男子1年8組 女子1年17組
2年20組 2年10組
3年4組 3年9組
【バスケットボール】
男子1年6組 女子1年27組
2年4組 2年19組
3年4組 3年11組
【卓球】
男子1年3組 女子1年18組
2年4組 2年21組
3年14組 3年7組
【ソフトテニス】
女子1年9組（B）
2年6組（B）
3年17組（B）
【水泳】
1年25組 斎藤 考将
1年16組 崎原美由紀

敬老の日の贈り物

生徒会では、今年も九月十五日の敬老の日に、七十歳以上で生徒と同居しているお年寄りにプレゼントを贈りました。今年は該当事者が中学、高校合わせて千二百二名（男四百三十五名、女六百六十七名で、男用には紺色、女用は紫色のウェスト・ボーチでした。なお該当事者のうちの最高齢者は、三年六組渡辺徳子さんのおばあ様の九十八歳です。

編集後記

今号では、名実共に発展をつづける本学園の近況をお知らせすることに重点をおきました。また三年に一度の運動会のスナップをクラブに組んで、皆さんに楽しかった思い出を再び味わっていただくことにしました。最後にになりましたが、各クラスの編集委員の皆さん、ご苦労さまでした。（編集委員長 手塚政幸）